

## 第6学年 社会科の実践

### 1、単元名 「近代国家へのあゆみ」

#### 2、単元目標

- ・明治政府ができ、欧米の制度や文化を取り入れて国の仕組みを整えていったことを調べ、産業の発展や憲法の制定などの近代化を進めていった経緯や、その目的を理解する。
- ・アジアでの2度の戦争を調べて、国力をつけていった日本が、国際社会でどのような立場になっていったのか。また、その背後で国内の産業や社会の様子はどのようなものであったか理解する。

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> <li>・時代の様子や人々の暮らしの変化に関心を持ち、意欲的に調べようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近代化を目指した明治政府の政策や、人々の暮らしの変化を調べ、その関わりや意味を考えることができる。</li> <li>・日本とアジア諸国との関係、対外的な事象と日本国内の変化について考えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真や資料などから、開国による影響や、明治政府が行った改革による社会の変化、憲法制定までの動きなどを読み取ることができる。</li> <li>・2度の戦争後のアジアにおける日本の立場を読み取ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近代化を目指した明治政府のおもな政策、人々の暮らしや社会の変化などについて理解している。</li> <li>・わが国の国力が充実し、国際的地位が向上したことや、社会の様子について理解している。</li> </ul>

### 3、ひびき合う子どもたちを目指すための指導の工夫

研究課題「切実な問題意識を持ち、友達と関わり合いながら学習する子どもの育成」

手立て・・・子どもの「切実な問題」を見取った授業づくり

ブロックテーマ「仲間に関心しつ、自分の思いも大切にする姿」

「新しい価値観に触れ、自分を再構築する姿」

#### (1) 単元について

本単元は、約260年間続いてきた江戸時代が終わりを告げてからの70年を学習する。それまでの政治、社会、経済のしくみ、あるいは人々の生活までも大きく変えてしまう明治の時代へと突入し、近代国家への仲間入りを果たす日本が、国の利権を争って戦争に足を踏み入れていくのである。大きく分けると、黒船の来航と開国、幕府から政府へ、文明開化、政府への反乱と憲法発布、日新日露戦争という5つになるだろう。江戸時代から考えれば、わずか70年間ですべての仕組みが変わっていくのだから、最も変化の多い転換期であると考えられる。また、子ども達にとっても、政策や文化の変化を知り、その様子が現在に近づいてきていることや、日本の国力が高まっていることに気付くことができるので、事実に関心を持って学習に取り組める単元といえるだろう。

幕府が倒れるきっかけとなる出来事として、一番に挙げられるのはやはり黒船の来航である。今まで見たことが無いような大きな船がやってきて、開国を迫られた当時の幕府の人間は、相当驚いたであろうが、後々に大きく関係する2つの条約を締結し開国することとなる。しかし、その条約が不平等だったことや、江戸時代が長く続くことによって起きた不正や、そこから生まれた不満が重なったことから、幕府は政権を天皇に返すことになった。ここで、700年以上続いてきた武士の時代は終わり、新しい政府へと変わっていった。

幕府から政府へと変わったことにより、新しい社会を作るための政策が考えられた。五か条の御誓文や廃藩置県、四民平等などである。しかし、政策について知識の少なかった政府の役人達は、世界から学んだその内容を生かし、条約の改正を目指して他の国々と肩を並べられるようにしたいと考えた。しかし、国内には、そのような政府のやり方に対して不満を持つ人が出現したことも事実である。そのような人々は反乱を起こしたり、自由民権運動を始めたりした。特に、藩閥政治に不満を持った人々が始めた自由民権運動が活発になった。自由民権運動では、国民から選ばれた代表が、集まって話し合う議会の開設を求めている。その広まりに恐怖を感じた政府は、国会の開設を約束し、大日本帝国憲法を発布する。その後、条約改正が行われたり、日露戦争に勝利したりするなど、近代国家の仲間入りを果たしていった日本は、太平洋戦争へと向かっていくことになるのである。

本単元の中で、子どもたちの関心が高まる点としては、大きく分けて3つあると考えられる。1つ目は幕府から政府になったことによる変化。2つ目は、その時代を歩む人たちの思い。3つ目は、憲法の発布である。1つ目の変化とは、主に明治政府の政策と文明開化である。子どもたちは、調べていくうちに身分の差が無くなったり、電車が開通したりしたこと、人々の生活は今までより便利になったことに驚くだろう。国の力を強くしようとした、「富国強兵・殖産興業」も含めると、子どもたちには明治政府のしたことは良いことばかりに映るかもしれない。しかし、一方で、人々からは兵役の義務化や政策への不満が出ていたことなどにも気付けるようにする。物事を多面的にとらえ、その出来事が今後の日本にどう関わっていくのかを判断できるようにしたい。

2つ目に関しては、特に1つ目で挙げた不満や反乱を起こした人たちの思いについてである。江戸時代では、幕府に背くようなことをすれば、命に危険が及び、家が取り潰される危険性があったため、争いも起こさずに過ごしていた。しかし、明治では、政策に不満を持った士族が各地で反乱を起こしたり、言論によって自分の考えを主張したりする人が現れる。自分たちの思いを曲げず、権利を勝ち取るために戦う姿に、子どもたちは共感するだろう。そして、その思いと運動が最終的に国を動かしていくことになったことを知ると、皆で話し合っって国を作っていくとしていた自由民権運動の重要さにも気付くと考えられる。政策や文化の変化に伴った人々の思いにも目を向けて、政府の人間以外がどのような国づくりを目指していたかを考えられるようにしたい。

3つ目に関しては、近代国家の象徴となる大日本帝国憲法についてである。4月からきまりについては大切に扱ってきたため、子どもたちは「憲法は明治時代のきまりにあたる」と考えるだろう。しかし、きまりに違いはないが、憲法は国民全てが守るべき最高のきまりである。今までのきまりとの違いや、憲法という言葉の意味についても大

切におさえたい。また、内容にどのようなことが書かれていたのかも子どもたちは気になるだろう。その内容については、事実をすぐに提示するのではなく、今までに挙げた子どもたちの関心が高まる3つの点を合わせながら扱いたい。この大日本帝国憲法が制定されるに至った経緯には、政府に対する人々の不満がどんどん大きくなったということが強く影響していると考えられる。一見多くの人には良いことばかりに思える政府の政策でも、特に士族にとっては自分たちの特権が奪われたり、慣れないことを強いられて生活が立ち行かなくなったりするなど、決して良いことだったとはいえないだろう。始めは不満ばかりだったかもしれないが、一方で現状よりも、人々はよりよく生きることができ世の中を想像していったに違いない。それが国民の代表と共に議を開き、皆で政治を行おうとする主張や、人は生まれながらにして自由だという考え方へとつながり、自由民権運動へと進んだのではないだろうか。自由民権運動を行ってきた人々は、その強い思いに賛同する人が各地に増えてきたことを見ても、政府は自分たちの思いに近づいたから開設を約束してくれたと思っただろう。しかし、発布された憲法を見ると、議会の選挙権はわずか1%しか得られず、自由や平等の規定は存在しなかった。また、自由という言葉があったとしても、「法律の範囲内」という前置きがついており、自分たちの望んでいるものとはかけ離れていたのである。これが大日本帝国憲法制定後の大きな矛盾であり、政府と人々との思いのズレが見られる場面であろう。時代の変化や特徴、人々の動きや制定された背景を元に、大日本帝国憲法の内容を予想することから、このような人々の思いに近づいたり、その思いとの矛盾に気付いたりできるようにしたい。また自由民権運動の中心として活躍した板垣退助と、憲法の調査や起草に携わった伊藤博文については、単元の中で丁寧に扱いたい。

## (2) 指導について

### ①変化を理解するために

単元についてでも述べたが、江戸時代から明治時代に転換するにあたり、どんなことが変わったのかは子どもたちの気になるところだろう。しかし、変化したことが多くありすぎて、一つ一つ出来事を追って全体で確認していくことは難しい。そこで、導入時に2枚の絵(A:1860年頃・江戸時代終わり、B:1889年・憲法発布時)を見せ、それぞれの絵の特徴を出すことにより、2枚の絵の間に起こった変化に目を向けられるようにする。そして、子どもたちはAとBの間にたった20年ほどしかないことに驚き、その間に何があったのかという課題を持つだろう。その課題を調べる視点として「いどだななど」(いつ、どこで、誰が、何で、何を、どうした)を与え、出来事を整理しながら一人で調べる時間を取りたい。そして、自分で得た知識をグループで一度共有し、全体でも確認する。使われている言葉を見ても、理解するのが難しい言葉ばかりなので、内容がわかりにくいものについては、グループ内で教えあうことも取り入れる。友達同士で出し合うことにより、もっと他に変わったことはないかと、さらに詳しく調べたいという思いを持つことを期待したい。

### ②資料について

20年間の変化を調べる際には、まずは、皆が共通して持っている教科書や資料集を使用する。しかし、それだけでは、明治政府の政策の内容や人々の思いの部分が理解しづらい。そこで、明治時代に関する本を複数置き、いつでも手に取れる環境を作りたい。それらの本には、教科書には載っていない西南戦争以外の士族の反乱についてや、自由民権運動に関する詳しい内容が入っているため、政府の政策について不満を持っている立場の人の思いや動きに気付くことができる。進めるにあたって、資料が不十分な場合には、教師のほうから資料を提示する。その際、子どもたちが読みにくいものについては、内容をわかりやすく言い換えて表記するなど工夫したい。

### ③考えに根拠を持つ

本時では、大日本帝国憲法にどんなことが書かれていたかを予想し、グループで話しあう活動を行う。そのため、事前に自分の考えをひとりひとりが持つことが重要になる。予想するとはいえ、その内容が妄想で終わってしまっはいけない。そのため、妄想にならないために自分の意見に必ず根拠を持てるようにしたい。具体的には、予想の根拠としてそれまでに確認した20年間の変化や、政府に対する不満と自由民権運動の高まりが挙げられるだろう。今までの学習を生かして根拠とし、予想ができるようにするために、キーワードとなる用語を教室に掲示し、悩んだ時に立ち戻れるようにしたい。

### ④ひびき合いについて

自分の考えをグループで話した後、全体で共有していくが、同じことを考えていても、理由が違ったり、理由が同じでも考えが違ったりすることもあるかもしれない。また、それぞれの考えから新たな疑問が生まれ、グループの中では解決しないことがあることも予想される。実態でも述べたが、全体の場での発言に消極的な子が多いので、まずはしっかりと自分の考えを述べ、相手の考えに耳を傾けることができるようにしたい。それにより、自分の意見と違う点や同じ点に気づき、自分の思いも大切にしながら、共感することができるだろう。そして、皆で話したり考えたりする中から、物事の新たな一面に気付いたり、自分の考えを再度振り返ってより良いものを目指す姿をひびき合いとしたい。

## 4、単元指導計画(全10時間)

	学習活動	主な支援・留意点・【評価】
1	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">2枚の絵からわかったことを発表しよう</div> (A)・武士がいる ・籠に乗っている ・誰かが通るために道を空けている (B)・服装が洋風 ・電車がある ・同じような服を着ている ・にぎやか、お祭りをしている感じ・憲法発布という文字が見える	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(A)と(B)の絵のそれぞれについて、わかることを挙げる</li> <li>・違いの一つ一つに注目するのではなく、大きく変化があったことを掴めるようにする</li> <li>・それぞれの絵の年代や、場所をおさえ、2つ絵の間には、約20年しか違いがないことを伝える</li> </ul> <p style="text-align: right;">【関心意欲態度】【技能】</p>

2 ・ 3 ・ 4	<p>○20年間で何があったのだろうか</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">20年間の出来事を調べよう</div> <p>①政策（版籍奉還、廃藩置県など） ②人物（福沢諭吉、お雇い外国人など） ③文化（電車、新聞、服装、食事など） ④不満（西南戦争、不平等条約など） ⑤自由民権運動（板垣退助など）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが調べやすいよう、明治時代に関する資料を用意する</li> <li>・「いどだななど」の視点で、資料から出来事を抜き出せるようにする</li> <li>・自分で考えた後にグループで情報交換をし、知識を定着させる</li> <li>・5つのグループに分類わけしてまとめていく</li> <li>・子どもが調べたことが不十分だった場合は、教師から資料を提示して補足する</li> </ul> <p>【関心意欲態度】【技能】【知識理解】</p>
5 ・ 6 (本時)	<p>○(B)の写真は、憲法が公布された時の人々の様子。憲法が公布されて人々は喜んでいるようだ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">大日本帝国憲法にはどんなことが書いてあったのか予想しよう</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学制が公布されているから、義務教育が憲法に書かれたんじゃないかな</li> <li>・新聞紙条例や集会条例がひどかったから、自由に言ったり書いたりできるという文が書かれていると思う</li> <li>・天は人の上に人を作らないんだから、皆が平等という考えは入っているのでは</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時に出た①～⑤までの内容が根拠となって考えが持てるようにする</li> <li>・内容を知っている子も、自分なりの根拠を探したり考えたりできるようにする</li> <li>・グループで話し合う中で、疑問や迷いが出た場合には、全体で共有し、それについて考える時間を取る</li> </ul> <p>【関心意欲態度】【思考判断表現】【知識理解】</p>
7	<p>○予想と比べてみよう</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">大日本帝国憲法はどんなものだったのかな</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自由民権運動をしてきた人が望んだことと違う</li> <li>・入っていると思ったことが全然入ってない</li> <li>・天皇の力が強かったんだ</li> <li>・法律の範囲内という言葉が多いな</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・憲法が出来るきっかけとなった、国会開設運動を行っていた自由民権派の思いとの矛盾に気付けるようにする</li> <li>・私擬憲法も提示し、当時の人々の中には国民の権利について考えを持ち、自ら憲法を草案していた人もいたことを伝える。また、その思いと、自分達の予想が近いことにも気付かせたい</li> </ul> <p>【関心意欲態度】【思考判断表現】</p>
8 ・ 9 ・ 10	<p>○大日本帝国憲法は制定されたけれど</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">その後の日本はどうかろう</div> <p>&lt;対外的&gt;・日清日露戦争　・条約の改正　・朝鮮併合　など &lt;国内&gt;・生活難　・反戦　・公害　・水平社設立　など</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戦争については、日本の勝利の一方で、朝鮮が併合され、自分達の国を奪われた朝鮮の人たちの気持ちも考えられるようにしたい</li> <li>・人々の生活についても目を向けられるようにする</li> </ul> <p>【関心意欲態度】【思考判断表現】 【技能】【知識理解】</p>

## 5、本時について

### ①本時目標

大日本帝国憲法の内容について、明治政府の政策や出来事、民衆の様子や思いをもとに予想し、当時の人々の立場で話し合うことができる。

### ②本時の展開

学習内容	指導上の留意点・支援・【評価】
<p>○グループの中で、自分の意見を持ち寄り、話し合う中でどんなことが書いてあったかを予想する</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>大日本帝国憲法にはどんなことが書いてあったらうか</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 45%;"> <p><b>A&lt;政策&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・皆が教育を受けられるようにする</li> <li>・税金を必ず納める</li> </ul> </div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 45%;"> <p><b>B&lt;人物&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんな平等である</li> <li>・海外から知識を得る</li> </ul> </div> </div> <p>「学制が始まったし、学問で国の力を上げようとしていたから、憲法にもそれを入れたと思う」「地租改正で税金を納める仕組みを作ったし、殖産興業や富国強兵でお金がかかったから」</p> <p>「福沢諭吉が書いた本の中で天は人の上に人を作らないと書いたから。」「お雇い外国人の人が活躍していたから海外の技術にも目をむけようとしていたのでは？」</p> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 20px auto; width: 40%;"> <p><b>C&lt;文化&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生まれながらにして自由で平等</li> </ul> </div> <p>「西洋の思想も入ってきているので、文化と同じで思想も受け入れられていたと思う」 「この思想は自由民権運動の背景にもあるから」</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 45%;"> <p><b>E&lt;自由民権運動&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言論の自由、集会の自由</li> <li>・皆が政治に参加する権利（女性にも権利を）</li> </ul> </div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 45%;"> <p><b>D&lt;不満・反乱&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・税金を減らす</li> <li>・生活が苦しい時は政府が保護する</li> </ul> </div> </div> <p>「集会条例や新聞紙条例で規制されていたから、自由を認めて欲しかったと思う」「議会というのは国民から選ばれた人が政治をするべき。皆が参加できるようにしたんじゃない？」</p> <p>「経済的に不安定な時は、養蚕で生計を立てているところは皆苦しかったから、反乱を起こさないように入れた」「士族についても何らかの手立てを政府がとったんじゃないかな」</p> <p>○それぞれのグループから出た意見を全体で共有し、大日本帝国憲法により書かれているのではないかという内容を考える</p>	<p>・前時までに自分の考えをまとめておき、話しあう前に自分の考えを確認する時間をとる。</p> <p>・自分の予想についての根拠をはっきりさせておく。</p> <p>・友達のを聞きながら、自分の考えとの共通点や相違点を認識できるようにする。</p> <p>・グループ内で新たな疑問や共感などが出た場合は、全体で共有し、皆の課題にする。</p> <p>・全体が同じような意見にまとまっていた場合は、大日本帝国憲法を提示し、予想との違いに気付けるようにする。</p> <p>・大日本帝国憲法の内容について、根拠をもとに考えようとしている。</p> <p style="text-align: right;">【思考・判断・表現】</p> <p>・友達のを興味を持ち、自分の考えを伝えたり質問したりして、話し合いを深めようとしている。</p> <p style="text-align: right;">【関心・意欲・態度】</p>

**\*本時について (当日案)**

①本時目標

大日本帝国憲法の内容について予想し話し合うことを通して、明治政府の政策や出来事、民衆の様子や思いに気付き、理解を深めることができる。

②本時の展開

学習内容	指導上の留意点・支援・【評価】
<p>○グループの中で、自分の意見を伝え、話し合う。グループの人の意見について、「入っている、入っていない、わからない」の3つに分類し、そう思う理由をワークシートに書き込む</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>大日本帝国憲法に入っているかどうか考えよう</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・天皇中心の国にする 「大政奉還天皇中心の国づくりのためにしたから」「版籍奉還天皇に土地を返すことだから」</li> <li>・みんなで政治をする 「自由民権運動でそう主張していた」「政治は一部の人が独占しているから」</li> <li>・平等にする 「江戸時代では身分の差があったから」「福沢諭吉の考えにあるから」「ノルマントン号事件が起きたから」</li> <li>・戦争はしない 「西南戦争でたくさん人が亡くなったから」「反乱を起こさないようにするため」</li> <li>・学問を学ぶ 「福沢諭吉の考えにあるから」「98%の人が学校に通っていたから」</li> <li>・困っている人にお金をくれる 「秩父事件があったから」「学校に行くにもお金がかかるから」</li> <li>・兵役につく 「他の国より強くなろうとしていたから」「富国強兵がスローガンだったから」</li> <li>・外国の人と仲良くなる 「西洋の文化も入ってきたし、外国にも行けるようになっているから」</li> </ul> <p>○グループで分類したことと、その理由について全体に発表する</p> <p>「うちの班では、天皇中心と、戦争はしないという意見が出ました。天皇中心は、大政奉還や版籍奉還という理由から、入っていると思いました。戦争はしないは、徴兵令があるから入ってないだろうという意見と、でも西南戦争のように死者が多くなったらいやだという理由が出たので、迷っています。」</p> <p>「お金をくれるという考えは入っていないと思いました。秩父事件は大変だったけど、そのときの政府は富国強兵とか殖産興業をスローガンにしていたから、みんなにお金なんてあげなかったという意見にまとまりました」</p> <p>○それぞれのグループから出た意見を全体で共有し、疑問や共感などの気付いたことを挙げる</p> <p>「みんなで政治をするという考えは、理由も大体同じで、入っていると思った人が多いね」「お金をくれるという考えについて、わからないと言っていたグループがたくさんあるね」「お金をもらえたら嬉しいけど、はっきりしないな」「本当の憲法にはどんなことが書かれていたのかな」「予想したものは入っていたか、見てみたいな」</p>	<p>指導上の留意点・支援・【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時までに自分の考えをまとめておき、話しあう前に自分の考えを確認する時間をとる。</li> <li>・自分の予想に関しての根拠をはっきりさせておく。</li> <li>・友達の考えを聞きながら、自分の考えとの共通点や相違点を認識できるようにする。</li> <li>・グループで話し合う数が違うので、早く終わったらグループみんなで入っていき、そうなるものか、ノートに書いてあるほかの考えを検討してもよいと伝える。</li> <li>・グループ内で新たな疑問が出た場合は、全体で共有し、皆の課題にする。</li> </ul> <p>・大日本帝国憲法の内容について、根拠をもとに考えようとしている。</p> <p style="text-align: center;"><b>【思考・判断・表現】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の考えに興味を持ち、自分の考えを伝えたり質問したりして、話し合いを深めようとしている。</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>【関心・意欲・態度】</b></p>

## 6、実践を終えて

### (1) 単元をつくることについて

歴史の学習は、過去に起きたことを学ぶことが中心のため、「よりよい状態を目指そう」や「みんなで解決していこう」という問題が生まれにくい。そのため、本単元では、「気になる」「調べてみたい」という気持ちを持ち、子ども達が常に持ち、学習に臨めるように単元をつくってきた。

具体的には、2枚の絵を比較し、時代の変化に目を向けさせるという導入部分である。この単元では、江戸幕府の終わりから日露戦争後までという長い年月を学習するが、政府が新しく行った政策や事件などが多く、すべてを把握して理解することは難しい。しかし、幕府から政府になって新しく取り入れられたことや、生活様式の変化などは、その後の歴史を学習していく中で関連することなので、しっかりおさえておきたいことでもあった。そこで、江戸時代後期と憲法制定時の絵を提示することにより、たった20年の間に様子がこんなにも変化した理由を「気になる、調べてみたい」と、子ども達が思えるようにした。調べていくと、子ども達は難しい言葉や大量の情報に困惑するかと思っただけ、少しでも多くの内容を知りたいという気持ちがあったようで集中して調べていた。また、調べる中から新たな疑問が生まれたり、わからないことをさらに調べようとしたりする様子も見られた。単元の初めに、とことん気になることを追究するという時間が作られたのは、子ども達の学習意欲を高める面でも良かったと感じる。

調べたことを全体で共有し、時代の流れを整理した後、「憲法にはどんな内容が書かれていたのか」や「市民はどんな生活をしていただろう」などの予想をする活動を取り入れた。またこの時、前半で調べてきた内容が根拠となったので、「気になる」という気持ちが継続して、子ども達の中にあっただと思われる。単元を通して、教師が知識を教えるというよりは、子ども達の「気になる」「知りたい」という意欲を重視した単元の展開を意識できたように感じる。

### (2) 本時の課題について

本時の課題は、大日本帝国憲法の内容を予想し、その内容が入っているかどうか考えることだった。一人ひとりがよく出来事を調べていたため、根拠をしっかりと探して自分の考えを持つことはできていた。また、グループの中で、自分の考えが入っているか検討したので、質問をしたり異を唱えたりする場面も少しは見られた。しかし、根拠がはっきりしていれば良いと教師自身が認識していたので、いろいろな考えが出ただけで終わってしまったようにも感じる。友達の見聞を聞いても「それもあるかもしれない」という反応が多く、一見、受容的にとらえているようにも見えるが、予想を述べ合っても特に答えが出るわけではないので、みんなではっきりさせなくてもいいのではないのかという雰囲気生まれてしまった。しかし、全体の場ではただの報告になり、それぞれの意見を伝えて終わりになることが多かった。そのため、本時の課題は、子ども達にとって切実な課題だったとは言えないと考える。予想したものを検討する中で、「本当にその考えが妥当なのか」「考えと事実に矛盾はないか」などの視点もなく、ただ意見を出して話し合っていたので、何をしっかりとさせるのか、何を話し合うのかを漠然としてしまったのではないだろうか。視点を与え、予想した考えがどこに着地するのかを明確にする必要があったと感じる。

### (3) 計画段階と実際の流れのずれについて

計画段階の本時では、大日本帝国憲法の内容を予想するだけにしていた。しかし、子ども達のノートを見たところ、自分の考えに根拠を持つことや、考えを複数書くことができている子が多かったので、予想を出し合うだけではなく、予想したものが大日本帝国憲法に入っているかどうか検討することに変更した。それは、一人ひとりが自分なりに調べていたので、その頑張りを生かしたいと思ったからである。調べたことがこだわりとなって出てきたり、根拠を増やしたりすることに使われれば良かったが、自分の考えに自信があるからか、自分の意見が言えれば良いといった、自分の考えに固執するような流れを作ってしまった気もする。子ども達の様子を見取って変更したつもりでも、結局は、ずれが生じてしまった。その要因は、子ども達の現状と実態との差をしっかりと認識せずに変更してしまったことである。現状として考えが持ていても、考えを検討する経験が少なかったため、話し合い自体がうまくいかずに終わってしまった。実態として経験不足なことを、本時に取り入れようとしても、子ども達には混乱を招くだけであった。ずれを直すためにさらにずれが生じるということは、今後無いようにしていきたい。

### (4) 成果と課題（ひびき合いについて）

ひびき合いに関する成果としては、グループによっては考えを出し合い、本当にその内容が入っているかを話し合うことができていたことである。疑問に思ったことは、教室の掲示物や資料を参照して事実に返ったり、友達同士で質問して確認したりする姿が見られていた。また、話し合っではっきりしなかったことについては、全体の共有の場で「はっきりしなかった」というように、皆に伝えることもしていた。はっきりしないことは、皆にも聞いてみようという意識はあったように感じる。

一方、課題としては、グループで話し合う際の経験が少なかったことや、視点が明確ではないので何を話したらいいか曖昧になってしまったことである。グループでの報告と検討の違いが子ども達に認識できていないので、話し合う材料がそろっていても、話し合い自体が成立しなかった様子もあった。視点を与え、相手の考えのどの点に注目し、どんな言葉をかけるかを明らかにした方が、課題をよりはっきりさせようとする意欲が持てたように感じる。